当開発システムの紹介と活用事例を報告し、システムの汎用性の可能性について検討した結果、本システムは地域連携会議を支え、地域の機能を強化できる可能性がみられました。本システムが、患者に関わる保健サービスと連動することで、エビデンスに基づく包括的治療・ケアの実現が期待できます。

現在、ご紹介したシステムを活用しながら、各所のモデル地域を増やしております。皆様方の地域におかれましても、当プロジェクトが地域連携活動にご協力させて頂ければ幸いです。

こちらが当プロジェクトのホームページとなります。ぜひご覧いただき、ご興味がございましたらご連絡いただければと思います。ご清聴ありがとうございました。

演題 161

学生に人気の地域医療研修

発表者 **酒井 和久**（島根県：隠岐広域連合立隠岐島前病院）

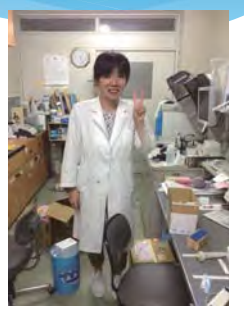
隠岐島前病院

一般病床：20床
療養病棟：24床
合計44床

スタッフ数（77名）

- 内科系総合医　6名
- 薬剤師　1名
- 看護師　31名
- 作業、理学療法士4名
- 検査技師　1名
- 栄養士　1名
- 他職員　33名

臨床検査



地域医療研修の受け入れ

	平成22年度	23年度	24年度	計
医薬学生	24	56	28	108人
看護学生	24	18	4	46人
看護師	3	7	5	15人
中高校生	17	5	11	33人
対応日数	281	304	288	873日

島根大学からは平成18年より医学生計61名が研修。
研修医14名が1-3か月の研修（勤務）を行った（H24）

院内・院外薬局

学生地域実習スケジュールの一例

	1週目AM	PM	2週目AM	PM
月	外科外来	老人ホーム	院外薬局	特養・往診
火	内科予約診	乳児検診	地域医療包括	ケアセンター
水	病棟回診	訪問看護	知夫村診療所	知夫村診療所
木	内科初診	カンファレンス	外来検査	薬局・薬剤師訪問
金	臨床検査室	訪問リハビリ	浦郷診療所	三度診療所

人工呼吸器下での、自宅外泊

訪問診療・訪問看護

人工呼吸器下での、自宅外泊

地域包括支援センター：訪問調査

【方法】

●平成24年度に受け入れを行った医学部からの学生14名に研修後アンケートを行った。

住民への健康講話

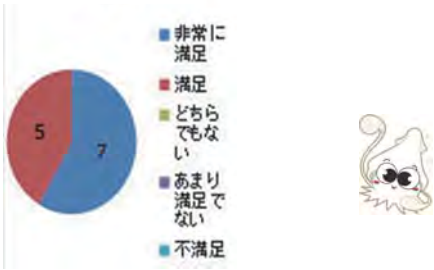
地域医療実習修了者　満足度調査

・基本スケジュールの内容
・担当の指導や指導体制
・手術外来などの参加・見学
・訪問実習について
・総合評価
・・・などの項目について

・非常に満足
・満足
・どちらでもない
・あまり満足でない
・不満足
の5段階評価
各項目につき自由記載ができる

運動指導

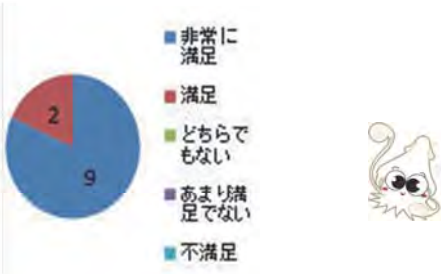
結果：外来・手術実習について



【目的】

●地域医療研修内容を振り返り、学生がどこに満足感を得ていたかを検証する。

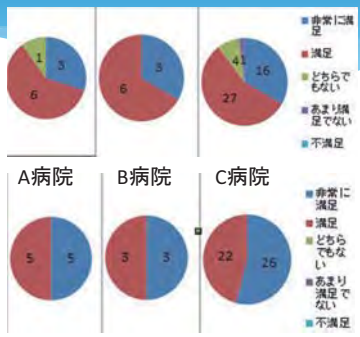
結果：訪問実習について



他医療機関での結果

外来･手術実習

訪問実習



医学生のアンケートから
「実習で良かったこと･印象に残ったこと」より

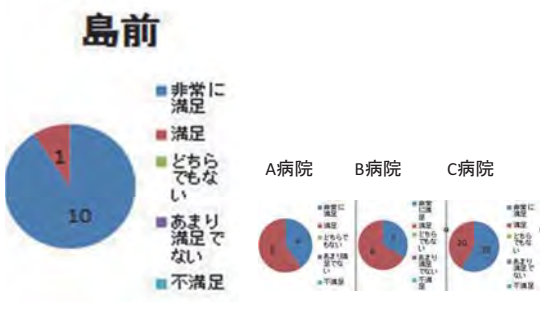
- 医師やスタッフが仲良く、温かく受け入れてもらえた
- 職種間の隔たりがなく、コメディカルの意見が尊重され、密に情報共有もしていて、これがチーム医療だ！と思った
- 医師だけでなくスタッフ全員が「患者さんのために・・」と同じ方向を向いて働いている、患者との距離が近い

結論

- 地域医療実習において、外来･手術と比較し、訪問（訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問薬剤指導など）の研修満足度が高かった。
- 自由記載では、院内多職種間の連携や、介護福祉との連携、患者に寄り添う医療の評価が高かった。

医学生のアンケートから
「実習で良かったこと･印象に残ったこと」より

- 在宅でも、充分な医療が受けれるようスタッフが努力していた
- 自分が医師になろうと思った、その原点に戻れた
- 総合医の実際
- 福祉の勉強もできた
- エコーの使い方
- プライベートも楽しんでいた
- などの記載がありました。

- ＊大学病院で学ぶ学生にとって、地域医療実習でしか得られない知識や経験、そして病院と住民とのかかわりがあり、満足度が高い。
- ＊よりよい地域医療実習を提供することで、地域医療を担う人材の育成につなげたい。

結果：病院全体の総合評価としては非常に満足が9割を占めた。